



北相中学校だより

合い言葉は 「挑戦・貢献・創造・誇り」



令和5年度

No. 7

6月9日発行

修学旅行に行ってきました 実行委員の皆さんの感想



私は京都の歴史や伝統文化について学んできました。3日目の班別行動では龍安寺に行き、石庭を見学しました。禅寺ならではの「侘び寂び」の精神に基づいて作られた龍安寺の枯山水は、考えごとをするのにぴったりだそうです。また、石庭の囲いが手前から奥に行くにつれて低くなっているのは、遠近法によって庭が広く感じられる造りになっていることを学びました。京都の建物は今でも用いられる技法を使っていることから、日本の昔ながらの文化は大切にしていきたいと思います。 S. S

修学旅行で平和について学びました。原爆ドームを間近に見て、歴史を感じました。平和記念公園内をボランティアさんに案内してもらい、平和記念公園は原爆ドームと慰霊碑が一直線になっていて、来る人に平和を考えさせるような構造になっているということがわかりました。被爆体験講話では、女の子は看護婦さんのお手伝いや路面電車の運転をしていて、男の子は工場で働かされていたことがわかりました。学習をしたことは、戦争は二度としてはいけないということです。実行委員を経験して、人前で喋るのがあまり緊張しなくなりました。 N. A

私は今回の修学旅行を通して学年の絆が今まで以上に深まったと思います。理由は、広島での班行動がまとまって移動できたことや、事前に班で決めたタクシーでの班行動を時間どおりに進められたからです。そのおかげで大きなトラブルもなく、みんな最後まで笑顔で「よい修学旅行になったね。」という声が聞こえました。とてもうれしかったです。私もクラスのみなどと3日間を共にすることで、友だちの今まで知らなかった一面を見ることができ、今まで以上に絆が深まったと実感しています。

私は実行委員を経験して、人の前に出て話すことが恥ずかしくなくなりました。これからは、どんどん人前に出て話せる役職に就きたいと思いました。 S. N

学年の行事を通してよかったことは、班別行動のときに班長の指示に従って動けたことです。今から何をするのか、次はどこに行ってどういった行動をすればいいのか、班別行動ではそういった班長の話をよく聴いてスムーズに行動できました。他にはホテルに泊まる時、建物に入る際に説明されたルールをしっかりと守れたことです。ルールを守れたことで最後の日まで気持ちよく過ごせました。

改善点は集合時間に遅れてしまったことや、言われてからの行動があったことです。もう少し時間に余裕を持った行動、言われる前に自分で気づいて行動する必要があると思います。素早く行動し話をよく聴けば、行事もスムーズにできるので、そういったことを意識すれば、次の行事の北相祭にとっても生かせると思いました。 T. A



私が今回の修学旅行でよかったと思うところは、ルールや決まりを守れたところです。自分たちで決まりやルールを決め、最後まで全員で守ることができました。

改善点は2つあります。一つ目は時間です。実際に2日目の講話の初めに全員が揃いませんでした。今後は5分前行動を意識して生活していきたいです。二つ目は、移動するときに列が乱れたことです。今後は集団で行動するときにはしっかり指示を聞いて列を乱さないようにしたいです。

僕は実行委員を経験して、みんなに的確な指示を出せるようになりました。この経験を学校行事の北相祭にいかしていきたいです。

I. S

3日目の様子



三日目は班別タクシー行動でした。先生方に出会ったかな？途中で雨に降られてしまいました。が、運転手さんに案内をしてもらいながら市内を巡ってきました。生徒たちは、笑顔で京都駅に戻ってきました。帰りの新幹線の中で、「もう終わりか…」という声が聞こえました。三日間お世話になった添乗員さんに全員でお礼の挨拶をしました。



結団式の中で、「中学校の修学旅行は一度きり。共に力を合わせ『非日常体験』と、『楽しい思い出作り』に挑戦し、10代の若い心と頭で、広島、京都で多くのことを感じ、考えてほしい。」また、解散式の中では、「修学旅行の終わりは、新しい学校生活の始まり。」と話しました。3年生の皆さんは、修学旅行の思い出や3日間で学んだことを、これからの学校生活や人生を送るためのエネルギーに変え、進路希望の実現や卒業に向けて頑張ってくれることと信じています。

なお、学校HPに修学旅行中の様子がたくさん紹介されています。是非ご覧ください。今後も北相中学校へのご支援、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

学校長 望月はる美